企業・団体名（　甲府青果株式会社　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用、教育、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別をしない体制を構築している。 ・年代や人種に壁を作らない。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・「あらゆるハラスメントを禁止する」旨を就業規則に明記。 【予定】 ・ハラスメント相談員の組織化と教育を実施予定。働きやすい環境作りを推進する。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・労働基準法、労働安全衛生法、その他法令改正を反映した就業規則の再整備を実施。 全従業員を対象とした勉強会を開催しルールの周知徹底を図っている。 ・安全衛生委員会を設置・運営し、時間外労働時間の管理および啓蒙活動を実施。 ・申請書による「事前申請・承認」の流れを再構築し、過度な長時間労働を抑制している。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・雇用条件において国籍によって差別されない体制整備となっている。 ・ハラスメントにおける意識と同様に差別することが無いよう社内にて意識共有している。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・労働安全衛生法により、安全衛生委員会を設置し毎月1回開催している。職場における労働者の安全と健康を保持し、快適な作業環境が形成できるよう、産業医の指導を頂きながら話し合いを重ねている。 ・安全衛生委員会にて、定期的に安全パトロールを行い、労働災害防止を啓蒙するとともに、ヒヤリハット報告による現場の声を反映した労災防止対策を実施している。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・労働安全衛生法に基づくストレスチェックを年に1度実施。 【予定】 ・メンタルヘルスに対する方針と計画を策定し、従業員全員が方針と対応方法を共有した状態を目指す。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・「継続雇用規定」を新たに制定し、定年退職後の再雇用制度について対象・基準を定め、職務に関する知識、技能を有する従業員を積極的に再雇用の対象としている。 ・多様な人材が活躍できる職場環境・雇用条件の整備を推進している。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・従業員の健康維持向上を目的とした、年1回の健康診断を実施。 ・インフルエンザ予防接種の会社補助制度も導入し従業員の健康と生産性の向上に取り組んでいる。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・職務に関する外部研修・セミナーへの参加機会を提供し、従業員の知識・能力の向上とマネジメントスキルの強化を積極的に推進している。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・就業規則および給与規定を全面的に刷新し、雇用形態による労働条件、休暇、賞与などに差が生じない給与体系を整え、公正な待遇と労働環境を確保している。								○		○							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・納品後の劣化商品を安易に廃棄するのではなく、相互に費用負担することで得意先店舗での半額処分を行い廃棄商品（フードロス）の削減に努めている。											○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・電気量削減委員会を立ち上げ、デマンドコントロールを実施し、エアコン設定温度の調整・ピーク時間を避けた充電・時間外の照明OFFなど節電への取り組みを実施している。 ・室外機へ遮熱効果の高いネットを施工し電気使用量を1割以上削減している。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・庫内で使用するフォークリフトをすべて電動化することでガスの排出をゼロ化。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	【非該当】業務内で有害化学物質を使用することが無いため。			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・無農薬・有機栽培・水耕栽培など環境に優しい生育方法を採用した農産物の取扱い拡大に向けた取り組みを実施している。						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境							○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	【予定】 バイオの力で生ごみを水に分解する業務用生ごみ処理機の導入を検討中。 廃棄物の削減だけでなくCO2排出量の削減にも取り組んでいく予定。												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・デマンドコントロールによる節電活動を行うことで、再生可能エネルギーの利用を間接的に支援している。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○		
21		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・ゴミの分別を徹底しリサイクルを推進。 ・裏紙を再利用することで社内リユースと経費削減を徹底。 ・段ボールや発泡容器からコンテナ配送への切り替えを行いリデュース活動（ゴミ発生の抑制）を推進している。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・服務規律を定め「信用保持義務」として私的な利益甘受を禁止することを明記し、コンプライア ンスの順守についての社内浸透を図っている。																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・コンプライアンスの順守、服務規程の順守など社内規定を整備することでガバナンスの強化を推進している。																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	【非該当】知的財産に関連する製品開発などがないため。								○	○								

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・服務規定において秘密情報保持義務および個人情報の取扱いについて定め、周知するとともに、個人情報を含むデータの取扱いについては担当者を限定し保管・廃棄を適正に処理している。																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・庫内すべてにコールドチェーンを導入し10℃以下の温度帯管理を徹底。 ・食品を扱う者として衛生教育を実施。カットフルーツ従事者の白衣についても外部クリーニングを導入し衛生管理に努めている。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・庫内すべてにコールドチェーンを導入し10℃以下の温度帯管理を徹底。 ・入庫検品時、袋詰め作業時、出庫検品時の鮮度チェック・産地表示チェックを徹底している。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・世帯構成人員の低下を背景とした商品の小分け需要増加に対し、カット野菜や袋詰め野菜のパッケージを行うことで「フードロス削減」に貢献できるよう努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地産地消を推進し地元個人農家や農業法人との取引を拡大。 ・山梨県産夏果実については県外への販売チャネル拡大やふるさと納税にも力を入れることで地域経済の活性化に取り組んでいる。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・ピンクリボントゥモローの活動に協賛し、乳がんの早期発見・早期診断/治療の啓蒙活動に参画している。 【予定】こども食堂の活動を通じて子どもたちの健全な成長を支える地域活動に参画することを計画している。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・県内産フェアなどを企画し、地元の生産者の育てた生産物の販売を推進している。 ・地元の個人生産者や小規模農業法人との取り扱いを拡大し地産地消を推進している。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・就業規則の全面改定を行い最新の法令への適合を実施。 ・社内会議や社内勉強会を通じて法令遵守及び行動についてその重要性を発信し、社内浸透を図っている。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念、経営ビジョンを掲げ、達成に向けた年度経営方針とも連動させて全社員と共有している。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・社内研修や全体朝礼を通じて法令順守（コンプライアンス）の重要性を全従業員に啓蒙。 ・アルコールチェックの徹底など法令以上に厳しい社内規定での運用を実施している。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・営業企画室を新設し、社会・環境を含めたステークホルダー全般に向けた活動を行う専門部署として組織体制を整備している。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・社外オブザーバーとして会計士・司法書士・社労士・弁護士と契約し、法的なチェック体制を整えながら経営判断を行うプロセスを構築している。 ・BCPを整備し災害時の事業継続リスクに日頃から備えている。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・SDGsへの取組みを皮切りに社内啓蒙活動を推進し、「企業の社会的責任」を踏まえた営業活動・事業拡大を行う土壌を醸成している。																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会																	○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・BCP（事業継続計画）を策定し、地震・水害を想定した組織体制・判断基準・従業員一人一人の行動基準まで作成、防災訓練等を通して周知徹底を図っている。 ・災害時安否確認システムを導入、自動配信により全従業員の安否確認を30分以内で把握できる環境を確保している。 ・各種サイバー攻撃を想定し、セキュリティ対策とバックアップ体制を整えている。									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。 また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（2021年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17